

こんにちは
横浜市議員

日本共産党
週刊ニュース

宇佐美 さやか です



日本共産党神奈川区事務所
横浜市神奈川区西神奈川3-2-17
電話：045-491-6843
FAX：045-491-6892
<http://www.usami-sayaka.jp//>

第四回
定例会

苦境に立たされている訪問介護事業所へ支援を

12月11日、横浜市会では会派代表の一般質問が行われました。日本共産党からは、大和田あきお議員（戸塚区選出）が登壇し、①苦境に立たされている訪問介護事業所への支援②大学等の学費無償化③横浜国際プールの本メインプールの存続④日本被団協のノーベル平和賞受賞について、山中市長に質問しました。



登壇する大和田議員

どの取り組みについては、「国や他の大学の状況などを注視していく」と述べるに留まりました。

市民向けのノーベル平和賞講演会を

日本被団協のノーベル平和賞受賞については、市長の受け止めを問い、市として市民向けに受賞者を招いた講演会などを開くことを要望しました。



山中市長は、「核兵器のない世界の実現に向けた長年のご活動が評価され、受賞に繋がったものと考えている」と回答しました。

訪問介護事業所へ公的支援を

大和田議員は、訪問介護事業所の支援について、神奈川民医連が訪問介護事業所に行った調査では、88.3%の事業所が困難な経営状況であること、引き下げられた報酬の再改定を88.8%が求めているという現場の声を伝え、訪問介護事業所の実態調査や横浜市として独自の支援を行うことなどを求めました。



質問と回答の全文はこちら→



始ってます！ 高校生の声を聞かせてアンケート

高校生が通る駅頭や門前で実施しています。ネットアンケートは、QRコードから！

山中市長は、「来年1月から介護事業所の経営情報の集積と分析を国が行うことになっている。その分析結果も参考にして事業所の実態を把握していく」と述べ、市独自の支援については、「訪問介護事業所の皆様から寄せられている声を通じて介護報酬の影響を受けていることは認識している」「事業所の加算取得が進むよう援助していく」と答えました。

学費ゼロへ横浜でも

大和田議員は、大学等の学費無償化について昨年党市議団が行った高校生アンケートで約6割の高校生が学費が高く「進路に影響している」回答したことを示し、市として学費が高いという認識を持っているのかと問い、他都市で始まっている学費無償化に向けた取り組みを横浜市大でも進めるよう（入学金ゼロなど）求めました。



写真上・左(港南区)
右(鶴見区)

山中市長は、「学費の値段によっては経済的な理由によって、学びを諦めることがあると承知をしている」と答えましたが、市大の入学金ゼロな